

## 耕作放棄地が増加している主な理由

(平成15年4月22日農林水産省提出資料(資料請求への回答)より抜粋)

### 耕作放棄地が増加している主な理由

全国の農業委員等を対象とした全国農業会議所の調査によると、耕作放棄地の発生要因として、「高齢化・労働力不足」との回答が最も多く、各地域を通じて8割を超えている。

これに次いで多い回答は「土地条件が悪い」となっているが、この回答を地域類型別にみると、平地農業地域では約4割であるのに対し、中山間地域では約6割となっており、この土地条件の差違が中山間地域における耕作放棄が特に進んでいる主要な要因と考えられる。

耕作放棄地が増加している主な理由(地域類型別にみた回答割合)

発生要因 (複数回答)	全国	都市的 地域	平地農業 地域	中間農業 地域	山間農業 地域
土地条件が悪い	47.3	28.8	41.0	59.9	60.2
高齢化・労働力不足	86.0	87.3	84.0	87.2	85.6
道路条件等が悪く通作 不便	33.9	28.4	35.0	37.8	32.0
鳥獣害の被害が多い	9.4	3.6	1.8	11.1	27.1

出典：全国農業会議所「遊休農地の実態と今後の活用に関する調査」(平成10年)